

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
- 2 一問一答方式

質問件名 市のキャッチフレーズプチ田舎をもっといかすために

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

2016年12月発行の第19回小平市政に関する世論調査報告書によると、小平市は非常に住みよい、まあまあ住みよいと感じている人が86%、緑の豊かさは約8割の方が、満足、やや満足と答えています。

小平市ではまちの魅力づくりのために小平市観光まちづくり振興プランを策定し、都会から一番近いプチ田舎をキャッチフレーズに市民や事業者、関係団体等と行政が協働して観光まちづくりを進めており、その中でこだいら観光まちづくり協会も発足しています。

観光を通じてまちのよさを伸ばし、まちの魅力を磨き、活力あるまちを築いていくことを後押しするために、以下質問します。

- 1、こだいら観光まちづくり協会の特徴的な活動の内容、これからの展望についてお示ください。
- 2、第19回小平市政に関する世論調査報告書で、小平産農産物を購入するようにしているとの答えが35.4%ですが、小平産農産物を観光の資源としても位置づける市として、この数字をどのように捉えますか。
- 3、小平産農産物をアピールするために、小平グリーンロード等でのマルシェの開催、市民文化会館ルネこだいらの喫茶室や市民総合体育館の現在閉店している売店スペースを活用することは大変有効と考えますが、市のご見解は。
- 4、小平市観光まちづくり振興プランの中で地域資源と記される小平市内でのイベントの質の向上や緑の保全、用水路の整備について、市としてどのようなことを行っていますか。
- 5、点在する見どころや散策ルートをつなぐための移動手段の確保や観光案内所、案内板の設置など観光をしやすくするための工夫が必要です。現在市として行っていることは何か、また課題をお示ください。
- 6、観光まちづくりをすすめるためには、小平市の魅力を市内外に向けてPRしていく必要があります。市としての取り組みについて、現在の状況と今後についてお示ください。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

平成 29 年 2 月 20 日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【 】

26	25	24	23

—(/)